

木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(22年2月分)

1. 調査実施期間 平成22年 1月20日 ~2月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

2月分の回答企業数は39社、回収率は86.7%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

| | | 22/2月 | 3月 | 4月 |
|------|-----|--------|--------|--------|
| 仕入動向 | 国産材 | △ 25.0 | △ 11.7 | △ 10.3 |
| | 外材 | △ 26.4 | △ 11.1 | △ 10.0 |
| 販売動向 | 国産材 | △ 28.3 | △ 13.3 | △ 10.3 |
| | 外材 | △ 30.3 | △ 18.2 | △ 13.6 |
| 在庫動向 | 国産材 | △ 16.2 | △ 12.5 | △ 10.7 |
| | 外材 | △ 27.9 | △ 16.2 | △ 10.3 |

仕入・販売は、国産材、外材とも荷動き悪くマイナス基調であるが、先行きマイナス幅が縮まっている。

在庫もマイナス基調。

仕入、販売、在庫とも先行3ヶ月荷動き動向が、前月同様全てマイナスと膠着の状況である。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

| 品目 | 22/2月 | 3月 | 4月 |
|----------------|-------|-------|-------|
| スギ正角(グリーン) | 0.0 | 0.0 | △ 2.6 |
| スギ正角(KD) | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| ヒノキ正角 | △ 2.3 | △ 2.3 | △ 2.4 |
| ヒノキ土台角 | △ 2.2 | △ 2.2 | △ 2.3 |
| 米ツガ正角(現地挽) | △ 4.3 | 4.3 | 4.3 |
| 米ツガ防腐土台角 | △ 2.2 | 0.0 | 0.0 |
| 米ツガ割物(現地挽) | 2.4 | 2.4 | 4.8 |
| 米マツ平角 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 北洋アカマツタルキ(現地挽) | △ 6.5 | 0.0 | 0.0 |
| ホワイトウッド集成管柱 | 36.0 | 18.0 | 2.1 |
| レッドウッド集成平角 | 18.4 | 10.5 | 5.3 |
| 型枠合板(国産) | 23.3 | 13.3 | 3.3 |
| 型枠合板(輸入) | 22.2 | 22.2 | 5.9 |
| 針葉樹合板 | 25.0 | 16.7 | 5.9 |

スギ正角(グリーン材)は先行き小幅のマイナス。ヒノキ正角、土台とも小幅マイナス基調で推移。米ツガは正角と割物の引き合いが多く、先行き小幅のプラスに転じている。

米マツ平角は±ゼロ。北洋アカマツタルキは小幅マイナス、ゼロと着実な回復の様子。

WW集成管柱、RW集成平角は品薄によりプラス基調だが、プラス幅が縮まっており先行き不透明。

合板とくに型枠が品不足から引合い多く、全般にプラス基調だが、先行きプラス幅縮小。

| 1. 荷動き | | コメント |
|---------|--|---|
| 仕入動向 | 米マツ一般材丸太 | 米マツ一般材丸太では、米国材輸出価格は1月積みも据え置かれた様子だが、カナダ材はオールド・セカンドグロスともFASは値上げ、特にオールド材の上げ幅が大きい。プレートも大幅アップでコストアップは確実。スプルス丸太は相変わらず中国・韓国の買いが旺盛で良材の手当ては難しい。(東京:米材問屋) |
| | WW管柱 | WW管柱はメーカー受注残が多く、納期一ヶ月かかる。RW中断面もサイズによっては欠品があり、米マツ割物も値上の傾向。(東京:外材集成材問屋) |
| | 外材 | 外材は強含むといわれながら、なかなか値上がりしません。(東京:外材問屋) |
| | 旧正月 | 旧正月で生産は低調。旧正月後に中国の買い付けが始まるために産地相場は強い。(東京:南洋・中国材問屋) |
| | 中国材 | 中国材は旧正月で入荷が少ない。(東京:南洋・中国材問屋) 全般に製品量少なく良材少ない。(東京:国産材問屋) |
| | 例年通り | 例年通りプレカットの仕事量はやや減少。3月の仕事量は増加。先行きは不透明。(東海:外材問屋) |
| 販売動向 | 構造材 | 構造材はプレカット工場まかせのため、在庫種類はそれ程多くなく、補充買い程度。(東京:仲買小売) |
| | 販売価格 | 販売価格の下落により、より安い品を探すようになった。(東京:仲買小売) |
| | 米マツ一般材丸太 | 米マツ一般材丸太京浜マーケットでは、小割中心のカスケード・セミカスケード系丸太の人气が高く、12月入港分新材では問屋の値上げも通った模様。(東京:米材問屋) |
| | 米ツガ・米マツ | 米ツガ・米マツともにKD90角と割物の引合は多い。(東京:米材問屋) |
| | 特殊な材 | 特殊な材のみの荷動きであり、とても細かく難しい。市場に処分品が目立つようになってきた。(東京:特殊材問屋) |
| | 急な注文 | 急な注文が多く困りが間に合わない。産地の価格上昇分がなかなか転嫁できない。(東京:南洋・中国材問屋) |
| | 構造材 | 構造材の長期低落傾向は続いている。(東京:国産材問屋) 2月に入って売れ行き不振。(東京:米材問屋) |
| | 造作関係 | 造作関係の仕事が少なく荷動きは悪い。デッキ材の動きは順調。(東京:南洋・中国材問屋) |
| | 全体的に | 全体的に悪い。無いもの(WW管柱・マツ割物)の注文はある。(東京:国産材問屋) |
| | 造作材 | 造作材関係加工付きでは若干動きが良くなっている。(東京:国産材問屋) 細かい注文材が多い。(東京:国産材問屋) |
| 在庫動向 | 本当に | 本当に動きが悪く、経費で調整するしかない。(東海:外材問屋) 1月後半より引合い減少。(東京:南洋材問屋) |
| | 一部の | 一部の商品は値上がりに転じているようだが、需要が伴っていないので心配だ。またスギ、ヒノキは原木製品ともに下がり過ぎの傾向にあり、この先も値戻りする要素が見当たらない。(東海:国産材問屋) |
| | 1月より | 1月よりは少し動き出したが、特定の工務店にしか仕事が無い。(東京:仲買小売) |
| | 2月に入 | 2月に入っても荷動きは相変わらず散発的。未だ先の見通し無し。従って仕入れ意欲依然として湧かない。(東京:仲買小売) |
| | 荷動き | 荷動き・見積り・問い合わせ全く無し。毎年2月は悪いが今年是最悪。新築は勿論リフォーム工事もない。需要はどこへ行ったやら。(東京:仲買小売) |
| | 遠距離 | 遠距離現場もあり配送効率に気を使う。取引工務店の物件大小はあるものの、そこそこのように思える。(東京:仲買小売) |
| 2. 価格動向 | スギ正角 | スギ正角 構造材は全く動かない。(東京:問屋) グリーン材は売れない。(東京:問屋) |
| | ヒノキ正角 | ヒノキ正角 原木もいち早く下げに転じた。出荷減にもかかわらず売行き悪し。(東海:問屋) |
| | 土台角 | 土台角 ①仕入れは今後船運賃の上昇で上がると思われる。②米国住宅着工が改善されつつある。(東京:米材問屋) |
| | 米ツガ | 米ツガ 在庫豊富のため価格弱含み傾向。(東京:仲買小売) |
| | 米マツ平角 | 米マツ平角 無風状態。(東京:問屋) |
| 北洋アカマツ | 北洋アカマツ タルキ スギ、ヒノキ、米ツガ、米マツともに特に動きなし。(東海:問屋) | |
| WW・RW | WW・RW 仕入れ単価は上がったが、売値は変わらず。(東京:問屋) 川上は多少強気、川下は弱気。(東京:仲買) | |
| 集成材 | 集成材 メーカー側とプレカット工場・問屋側との綱引きのような状態が続いている感じです。(東京:問屋) | |
| | 平角のメーカーは値上げを唱えているが実際には上がらない。(東京:問屋) | |
| | 値上がりしている。現地挽きの入荷も遅れ、しばらく強いと思われる。(東京:問屋) | |
| | WW・EW管柱品薄、輸入品少なく、国内メーカーもラミナ不足。国内産@1,700円/本台後半。RW平角@/m ³ 2,000円UP。(東海:問屋) | |
| | 1月初め1,620円で買っていたのが、1月末には2,000円となり、しかも品切れ状態。(大阪:仲買) | |
| 合板 | 合板 輸入型枠合板は先高感と先行き品不足の懸念から、引き合いは多く価格はジリ高傾向。針葉樹構造用合板は荷動きがよかった反動から、やや一服状況。メーカー在庫は減少傾向で、価格は徐々に上昇している。(東京:問屋) | |
| | 針葉樹合板価格やや上昇。@601円/枚台。(東海:問屋) 問屋により価格の変動あり。(東海:仲買) | |
| | 輸入量の減少と流通業者の思惑仕入れによりメーカー在庫少ないため価格やや上昇気味。(東京:仲買) | |